

# 日本、そして世界で活躍する、SFCの卒業生たち。

Career 1 山下ヴォーン 亜仁香

国際連合食糧農業機関 (FAO) 広報渉外局 広報官

総合政策学部 2003年卒業

## 世界の貧困をなくしたい。 その想いを実現するために、国連で新たなキャリアをスタート。

大学卒業後はテレビ局へ就職しましたが、欧州留学の想いが強くなり大学院に進学しました。そこで現在の夫と出会い、大学院修了後、彼の仕事の関係上、ドバイへ移り住むことになりました。ドバイでは企業広報へとキャリアシフトすることができましたが、現地で新興市場特有の貧富の差を目の当たりにした際、持続的発展可能な社会づくりの必要性を強く感じ、次第に国際機関で仕事をしたいと思うようになりました。そんな時、外務省のジュニアプロフェッショナル制度を知り受験することに。無事合格することができたのは、国際連合食糧農業機関 (FAO) に勤務しています。FAOでは、飢餓撲滅キャンペーンや国連機関やNGOとのパートナーシップ管理、広報プロデュースやアドバイザー業

務など実に様々な業務を担当しています。国連組織としての広報の枠組みを理解しながら、クリエイティブで面白い企画を提案し、周囲を巻き込んで行くことができた時は、とてもやりがいを感じます。また民間企業と違って「貧困撲滅」など大きな理想を掲げて広くPRする仕事なので満足感も高いです。SFC時代に得た情熱や発想法は今の仕事にも活かされていると思います。幅広く色々な勉強ができた上に、素晴らしい仲間にも恵まれ、いまでも大学時代の友達とはメールやスカイプを通してコンタクトをとりながら、世界中どこに行ってもつながり続けています。もう一度高校生に戻っても、間違いなくSFCを選ぶと確信しています。



卒業後のキャリア

2003年 3月 総合政策学部卒業。  
2003年 4月 テレビ局に就職。報道記者となる。  
2005年 8月 ヘルシンキ経済大学大学院へ留学。  
2006年 5月 夫の仕事の関係上、ドバイへ移住。企業広報へキャリアアシフト。  
2児を出産。  
2011年 3月 外務省のジュニアプロフェッショナル制度によりFAOに勤務。

Career 2 駒井 宏美

TMI 総合法律事務所 IP(知的財産)グループ 弁護士

環境情報学部 2004年卒業

## 研究生活から一転、弁護士の道へ。 自分自身の将来の答えを、SFCで見つけました。

在学中は、学部・大学院を通じて5年間、汎用的ゲノム解析用ソフトウェア開発や人工ゲノム構築手法の開発などの研究に携わっていました。このような研究活動を通して、特許権や著作権などの重要性を実感し、SFCで培ったバックグラウンドを活かして、研究者の立場を理解した法曹を目指したいと考えようになりました。そして、修士課程を修了するタイミングで自分の将来について改めて考えた結果、研究生活から一転、弁護士を目指すことを決意しました。その後、慶應義塾大学の法科大学院へ進学。最高裁判所における司法修習を経て、弁護士資格を取得し、法律事務所に入所しました。現在は弁護士として、特許権の侵害訴訟、知的財産権等

に関するライセンス契約の作成、その他会社法関係のお仕事など、幅広い業務に携わらせていただいています。大学受験の頃、弁護士になるとは思っていませんでした。SFCにおいて色々な経験をjする過程で、本当に自分がやりたいことが見つかったように思います。皆さんも大学に入学した後も、ご自身には何が向いていて、将来どのようなお仕事がしたいのか、模索する日々が続くかと思ひます。幅広い分野の研究室、個性豊かな学生、充実した研究設備等がそろったSFCは、将来の道を模索する絶好の場であると思ひます。答えは人それぞれ。苦しいこともあるかと思ひますが、ぜひSFCで楽しみながら、ご自身の答えを見つけてください。



卒業後のキャリア

2004年 9月 環境情報学部卒業。  
2006年 3月 政策・メディア研究科修了。  
2009年 3月 慶應義塾大学法科大学院修了。  
2009年 11月 最高裁判所司法修習所入所。  
2010年 12月 第一東京弁護士会登録。  
2011年 1月 TMI 総合法律事務所勤務。

SFCの卒業生はその問題解決能力を活かし、様々な分野で活躍しています。

もちろん一般企業においても高い就職率を誇ります。IT、語学力に長けた学生が多いことから情報通信産業に強い傾向がありますが、商社や金融、メーカー等へ就職する学生も多数います。

Career 3 福吉 潤

株式会社キャンサーズキャン 代表取締役社長

総合政策学部 1999年卒業

## 30歳を機に一念発起し、ハーバード大への留学を決意。 そこで出会った仲間とともに起業。

大学卒業後、P&Gに就職しマーケティング本部へ配属されました。それから7年間、化粧品をはじめ数多くのブランドマーケティングに携わり、TV-CMや販促キャンペーンの企画などを行ってきました。非常にやりがいを感じていましたが、30歳を過ぎたある日、「もう一度人生をゼロから考え直したい」、「同じ志を持った仲間を見つけ、共に歩みたい」という想いが抑えきれなくなり、学生時代からの念願であった留学を決意。32歳の時に退職しハーバード大学へ留学しました。そして留学中、全く違う分野で活躍してきた友人と意気投合し、株式会社キャンサーズキャンを立ち上げました。キャンサーズキャンは「社会の健康づくり」をテーマに立ち上げた社会的企業です。具体的

には、できるだけ多くの人が健康維持のための予防行動(がん検診や禁煙など)ができるよう国の政策に関わったり、健康分野の研究者の方とキャンペーン活動を推進したりしています。起業するにあたり、私はふたつの目標を掲げました。ひとつは私自身がSFCやP&Gで育ててもらったように、一人でも多くの社員を一人前の社会人として育てたいということ。そしてもうひとつは、社会にインパクトを与えることがビジネスとして成立することを証明することです。社会は色々なことが複雑に結びついています。もちろん、いきなり大きく変えることは難しいのかもしれませんが、でも、小さな成果を着実に積み重ね、社会に真のインパクトを与える。そんな存在感のある会社になりたいと願っています。



卒業後のキャリア

1999年 3月 総合政策学部卒業。  
1999年 4月 P&G入社。  
2006年 8月 マーケティング本部へ配属。  
ハーバード大学へ留学。  
2008年 11月 株式会社キャンサーズキャンを創業。

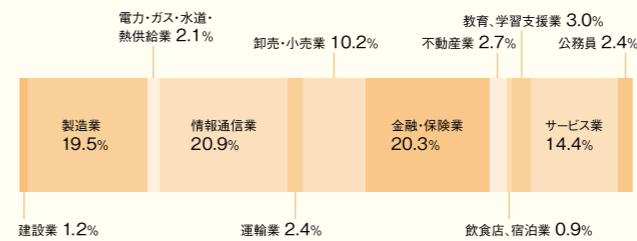
SFCのスピリッツを持ち様々な分野で活躍する卒業生を紹介しています。 [SFCスピリッツ](http://www.sfc.keio.ac.jp/alumni_stories/archive.html) [http://www.sfc.keio.ac.jp/alumni\\_stories/archive.html](http://www.sfc.keio.ac.jp/alumni_stories/archive.html)

### 卒業後の進路

2010年度 卒業生就職状況・主な就職先(公務員含む)

#### 総合政策学部

就職者数：334名 進学者数：49名

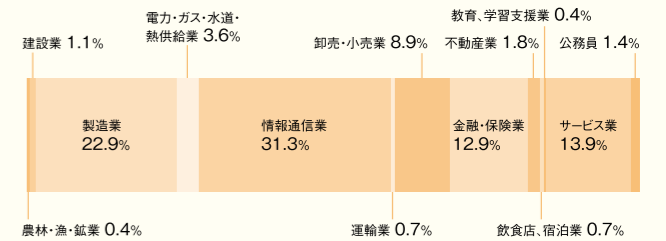


| 人数 | 会社名             |
|----|-----------------|
| 11 | 三菱東京UFJ銀行       |
| 9  | SMBC日興証券        |
| 6  | 三菱商事            |
| 6  | 楽天              |
| 6  | 電通              |
| 5  | ユニクロ            |
| 4  | 野村證券            |
| 4  | 三井住友銀行          |
| 4  | 富士通             |
| 4  | NTTデータ          |
| 4  | 三菱UFJ信託銀行       |
| 4  | 三井物産            |
| 4  | アビームコンサルティング    |
| 3  | みずほフィナンシャルグループ  |
| 3  | アクセンチュア         |
| 3  | 日本放送協会          |
| 3  | サントリーホールディングス   |
| 3  | 東京海上日動火災保険      |
| 2  | 野村総合研究所         |
| 2  | 三井住友海上火災保険      |
| 2  | 日立製作所           |
| 2  | 大和証券            |
| 2  | キャノン            |
| 2  | 東京電力            |
| 2  | 伊藤忠商事           |
| 2  | 全日本空輸           |
| 2  | 新日本製鐵           |
| 2  | 三菱重工業           |
| 2  | アステラス製薬         |
| 2  | セブテニ・ホールディングス   |
| 2  | メタルワン           |
| 2  | GOVリテイリング       |
| 2  | メリルリンチ日本証券      |
| 2  | 帝国データバンク        |
| 2  | 神奈川県警察          |
| 2  | 三菱UFJモルガン・スタンレー |
| 2  | ヤフー             |
| 1  | 朝日新聞社           |
| 1  | フジテレビジョン        |
| 1  | オリエンタルランド       |
| 1  | 他、1名就職した企業206社  |

※就職者数には海外への就職、フリーランス2名を含む

#### 環境情報学部

就職者数：280名 進学者数：76名



| 人数 | 会社名            |
|----|----------------|
| 10 | 楽天             |
| 6  | 日立製作所          |
| 4  | ソニー            |
| 4  | 東日本電信電話        |
| 4  | NTTデータ         |
| 4  | 東京電力           |
| 4  | 日本放送協会         |
| 4  | ヤフー            |
| 3  | 三菱東京UFJ銀行      |
| 3  | 野村證券           |
| 3  | 三井住友銀行         |
| 3  | 富士通            |
| 3  | 野村総合研究所        |
| 3  | 電通             |
| 3  | 三井物産           |
| 3  | 博報堂            |
| 3  | 中央三井トラスト・グループ  |
| 3  | 本田技研工業         |
| 3  | KDDI           |
| 3  | ユニクロ           |
| 2  | みずほフィナンシャルグループ |
| 2  | 三菱商事           |
| 2  | 三井住友海上火災保険     |
| 2  | 損害保険ジャパン       |
| 2  | 東芝             |
| 2  | 三菱電機           |
| 2  | 日本電気           |
| 2  | ワークスアプリケーションズ  |
| 2  | リコー            |
| 2  | 西日本電信電話        |
| 2  | 凸版印刷           |
| 2  | インターネットイニシアティブ |
| 2  | インテル           |
| 2  | エムティーアイ        |
| 2  | サイボウズ          |
| 2  | ネクスウェイ         |
| 1  | トヨタ自動車         |
| 1  | 全日本空輸          |
| 1  | 任天堂            |
| 1  | TBSテレビ         |
| 1  | 他、1名就職した企業168社 |